



▲熊本青年会議所の皆さんによる熊本城の清掃



▲シンボル花壇の手入れに励む人々 (熊本市九品寺)

— さらに運動の推進を —

「美しい熊本づくり」運動も満三年を経過しようとしております。緑化思想も、除々に高揚、定着をみせはじめ、既に多くの団体・個人の積極参加がありますが、まだまだ充分とは言えません。さらに、県民一体となって運動の推進を図りたいものです。

います。組織づくりには、リーダーの育成が一番必要ではないでしょうか。だからそういう人達を地域の隅々に見い出して、その人達がかき回してくれるような組織づくりをすることですね。

□民生委員は地域福祉の推進者

守尾 本当に民生委員即社協であり、福祉の心を地域で大きく広げる役割であります。民生委員が社会福祉協議会の中核であり先兵であるという自覚をもって、常に地域のニードを発見する。それから人材や資源の発掘をやって皆んなで話し合い、検討処理していくような体制が課題となるでしょう。

そのためには地域の各層の人達と仲よくなる、和を図るといふことですね。私のところの社会福祉協議会は各種団体全部はいつています。町内自治会、民生委員は勿論ですが、老人会、婦人会、それに防犯協会、体育協会等あらゆる団体が全部網羅されております。

そして各団体から出るニードがあるわけです。また民生委員が努めて発掘して回る。そしてそれを持ち込んでそれぞれに防犯協会、老人会、婦人会、それに防犯協会、体育協会等あらゆる団体が全部網羅されております。

問題に重点を置いて研究し、手を打っています。西 身障者の場合は地域に溶け込めないというところが非常に多いわけですね。これには身障者の側にも、社会の側にも問題があります。社会にはあれはなんかの報いたいという目で見える人が現実におりま

す。私はやはり身障者には正しい理解を持っていただきたいと思えます。

身障者は本当に一声をかけていただくだけでこんなに嬉しいかわかりません。愛の一声運動というものがありませんね。そういう社会の思いやりのある理解があれば身障者もおどおどせず横断歩道を渡ることができると、盲の少女がホームから落ちて死んでもいいわけですね。

部長 それは、埼玉県大宮駅で起こった出来事でしたね。これはニューヨークの話ですが、白い杖をつけて歩いていた青年が何を勘違いしたのか、いきなり横断歩道でもない車道を歩きだしたんです。近くにいた人が驚いて後を追いつつつかまえたので当然つれ戻すかと思えば、なんと二人はどんどん前に進んでいくんです。激しい車の流れはいつの間にか停まり、二人はその前を別に急ぐでもなく、向側に到着した、するとそれを見ていた人達が一斉に拍手し自分のことのように喜んだというんです。本当に感

激的な出来事と思えます。日本にもこのような一般市民の善意が欲しいですね。

□福祉教育の必要性

保田 人々の心に本当の思いやりの心を培っていくということは、時間を必要とするものではあるけれども今後取り組んでいかねばならぬことですね。

やはり教育というところに帰りますかね。教育というのは暇がいります。暇がいりますけれども教育の中に福祉の考え方というものを取り入れ、全ての人達が福祉について考える社会環境を作り出したいものですね。

日本人も物には満足したから、これからは心の面を考えていきたいと思います。部長 いろいろ建設的なご意見をいただきました。ありがとうございます。充分に意を尽されたいとも思うかと思いますが、要は、お互い同志のちよっとした心づかい。日々の語り、近所づき合いが最も大事なことであり、そこから福祉の心である理解と善意が生まれ、地域ぐるみで福祉という考え方がなるかと思えます。

行政側も今後皆さま方のお力添えをいただきまして、さらに地域福祉実現のために努力をさせていただきます。本日はありがとうございました。

人間外の人間の様に疎外されがちである。しかし、社会にその数は、およそ全人口の三割を占めるといわれていて、貴賤貧富を、そして又両親の如何をも問うことなく、いっこの家庭にでるかかわらないのが現状である。特に公害の多い今の世の中ではその出現率は多くなっても少なくなるとは思われないのである。県下には精神薄弱者の治療教育施設は十七カ所あり、地域社会の中に在っている」と密接な関係を持ちながら、福祉がすすめられている。

施設は大きな家庭の役目もするが、教育治療の場所であり、小さな社会であり又職場でもあるのであって、将来社会の一員としての復帰を希いあらゆる訓練を行っているのである。

地域社会との交流は最も大切なものであり、地域社会の理解と協力がなければ施設の機能は充分に果し得ないのである。この子等は病気ではないのである。

どんな重度の者でも早期に治療教育を受ければ普通の者より長くかゝり手間はとるが社会生活が可能になる者は少なくないのである。

福祉が高く叫ばれているが、単なるかけ声に終らぬ様、声なき此の子等の真の福祉を希い地域社会との一体化をはかり、明かい福祉社会の建設を目指して行きたいと思う。